

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月14日
【四半期会計期間】	第49期第2四半期（自平成25年7月1日至平成25年9月30日）
【会社名】	第一化成株式会社
【英訳名】	Daiichi Kasei Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 本多 希夫
【本店の所在の場所】	東京都八王子市明神町三丁目20番6号八王子ファーストスクエア6階
【電話番号】	042(644)6515(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 山本 一良
【最寄りの連絡場所】	東京都八王子市明神町三丁目20番6号八王子ファーストスクエア6階
【電話番号】	042(644)6516
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 山本 一良
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第48期 第2四半期連結 累計期間	第49期 第2四半期連結 累計期間	第48期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 9月30日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高(千円)	1,704,273	2,048,040	3,536,130
経常利益(千円)	407	281,201	183,875
四半期(当期)純利益又は四半期 純損失()(千円)	10,576	183,021	115,782
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	14,577	179,987	127,758
純資産額(千円)	2,196,287	2,475,822	2,340,229
総資産額(千円)	3,098,608	3,461,612	3,240,201
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は1株当たり四半期純損失 金額()(円)	1.89	32.74	20.71
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	32.38	-
自己資本比率(%)	70.6	71.4	71.9
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	98,997	282,604	21,842
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	38,408	50,715	63,027
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	71,650	69,714	103,023
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	843,096	1,026,434	864,259

回次	第48期 第2四半期連結 会計期間	第49期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年 7月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 7月1日 至平成25年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	1.39	13.18

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第48期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。
4. 第48期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在していないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による積極的な経済や日本銀行の金融緩和策等に対する期待感から円安・株高が進行し、景況感には改善の動きが見られたものの、雇用・所得環境は厳しい状況が続くなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもとで当社グループは、高付加価値商品を追求し続け、米国向け自動車用、飛行機用、コントラクト・マーケット用を中心に新商品、改良商品の投入を推進してまいりました。世界的な合成皮革の需要が増加傾向にあることも追い風となり販売高は増加しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は20億48百万円（前年同四半期比20.2%増）、営業利益は2億29百万円（前年同四半期は営業損失24百万円）、経常利益は2億81百万円（前年同四半期は経常利益0百万円）、四半期純利益は1億83百万円（前年同四半期は四半期純損失10百万円）となりました。

用途別売上の概況は、次のとおりであります。

家具・車輛用

米国市場向けのフォード、クライスラー、GMを始めとした自動車・トラック用部品メーカーへの販売と航空機内装用の販売が増大いたしました。コントラクト家具用、デンタルチェアやホスピタル向け家具用も販売を伸ばしております。米国の消費が好調であることから、引き続き需要が堅調に推移することが予想されております。

この結果、家具・車輛用の売上高は15億18百万円（前年同四半期比17.4%増）となりました。

手袋用

国内向けスポーツ・乗馬用手袋、作業用手袋は安定的に推移しております。米国向けのゴルフ手袋用は在庫調整と供給が遅れたことにより販売が減少しております。

この結果、手袋用の売上高は2億6百万円（前年同四半期比22.8%減）となりました。

その他

ディスプレイ・ケース用の受注が国内・海外共に従来に比較して増加しております。また、国内向けの衣料用CAPRITAS®シリーズが好調で、特に旭化成せんい株式会社のベンベルグ®（キュブラ）を使用した"#7700 Finesse", "#8800 Capritas"の販売が増加しております。

この結果、その他の売上高は2億98百万円（前年同四半期比156.9%増）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前第2四半期連結会計期間末に比べ1億83百万円増加した10億26百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は2億82百万円(前年同四半期は98百万円の減少)となりました。これは主に持分法による投資損益41百万円、法人税等の支払額71百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益2億86百万円、減価償却費の計上31百万円、利息及び配当金の受取額57百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は50百万円(前年同四半期比12百万円の増加)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出42百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は69百万円(前年同四半期比1百万円の減少)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出30百万円及び配当金の支払額39百万円によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

なお、当社は財務及び事業の方針の決定を支配する者の在り方に関する基本方針を定めておりません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の総額は、36百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	27,200,000
計	27,200,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	6,800,000	6,800,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	6,800,000	6,800,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年7月1 日～ 平成25年9月30日	-	6,800,000	-	415,500	-	240,120

(6)【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
東京中小企業投資育成株式会社	東京都渋谷区渋谷3-29-22	1,402	20.62
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区丸の内1-3-3	275	4.04
株式会社りそな銀行	大阪府大阪市中央区備後町2-2-1	275	4.04
株式会社東京都民銀行	東京都港区六本木2-3-11	275	4.04
大日精化工業株式会社	東京都中央区日本橋馬喰町1-7-6	274	4.03
白石カルシウム株式会社	大阪府大阪市北区同心2-10-5	240	3.53
第一化成従業員持株会	東京都八王子市明神町3-20-6	215	3.17
小池讓二	東京都八王子市	169	2.49
中野淳文	東京都杉並区	159	2.34
山口創生	山梨県上野原市	146	2.15
計	-	3,430	50.45

(注) 上記のほか、自己株式が1,210千株あります。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,210,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,582,000	5,582	-
単元未満株式	普通株式 8,000	-	-
発行済株式総数	6,800,000	-	-
総株主の議決権	-	5,582	-

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式646株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
第一化成株式会社	東京都八王子市明神町三丁目20番6号	1,210,000	-	1,210,000	17.80
計	-	1,210,000	-	1,210,000	17.80

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、九段監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	864,259	1,026,434
受取手形及び売掛金	1,082,586	1,084,137
商品及び製品	257,369	218,911
仕掛品	27,009	30,075
原材料及び貯蔵品	63,960	80,720
繰延税金資産	39,513	44,442
未収還付法人税等	22	1
その他	30,461	58,943
流動資産合計	2,365,184	2,543,666
固定資産		
有形固定資産	497,938	526,486
無形固定資産	12,838	11,104
投資その他の資産	364,240	380,355
固定資産合計	875,017	917,946
資産合計	3,240,201	3,461,612
負債の部		
流動負債		
買掛金	219,015	230,439
短期借入金	300,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	60,960	40,920
未払法人税等	49,002	95,388
賞与引当金	26,152	32,869
役員賞与引当金	12,000	7,125
その他	86,402	138,178
流動負債合計	753,533	844,919
固定負債		
長期借入金	10,440	-
退職給付引当金	86,740	87,232
役員退職慰労引当金	47,900	52,020
繰延税金負債	1,358	1,617
固定負債合計	146,438	140,870
負債合計	899,972	985,789
純資産の部		
株主資本		
資本金	415,500	415,500
資本剰余金	240,120	240,120
利益剰余金	2,258,193	2,402,088
自己株式	588,303	588,332
株主資本合計	2,325,509	2,469,376
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,231	3,884
為替換算調整勘定	2,544	1,142
その他の包括利益累計額合計	5,775	2,742
新株予約権	8,943	3,704
純資産合計	2,340,229	2,475,822

負債純資産合計

3,240,201

3,461,612

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	1,704,273	2,048,040
売上原価	1,505,673	1,584,004
売上総利益	198,600	464,036
販売費及び一般管理費	222,841	234,272
営業利益又は営業損失()	24,241	229,763
営業外収益		
受取利息	30	20
受取配当金	836	842
仕入割引	3,341	4,102
持分法による投資利益	20,694	41,067
その他	2,499	6,923
営業外収益合計	27,402	52,957
営業外費用		
支払利息	2,312	1,447
為替差損	383	-
その他	56	71
営業外費用合計	2,753	1,518
経常利益	407	281,201
特別利益		
新株予約権戻入益	-	7,338
特別利益合計	-	7,338
特別損失		
固定資産除却損	60	1,329
電話加入権評価損	-	276
特別損失合計	60	1,605
税金等調整前四半期純利益	346	286,934
法人税、住民税及び事業税	19,051	110,180
法人税等調整額	8,128	6,267
法人税等合計	10,922	103,913
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	10,576	183,021
少数株主利益	-	-
四半期純利益又は四半期純損失()	10,576	183,021

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	10,576	183,021
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	805	653
為替換算調整勘定	3,195	3,686
その他の包括利益合計	4,001	3,033
四半期包括利益	14,577	179,987
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,577	179,987
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	346	286,934
減価償却費	33,923	31,068
株式報酬費用	-	2,098
賞与引当金の増減額(は減少)	16,005	6,717
役員賞与引当金の増減額(は減少)	4,000	4,875
退職給付引当金の増減額(は減少)	4,496	491
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	3,060	4,120
固定資産除却損	60	1,329
電話加入権評価損	-	276
新株予約権戻入益	-	7,338
受取利息及び受取配当金	866	863
支払利息	2,312	1,447
持分法による投資損益(は益)	20,694	41,067
売上債権の増減額(は増加)	192,099	1,550
たな卸資産の増減額(は増加)	124,796	18,633
仕入債務の増減額(は減少)	110,934	11,423
その他	7,233	11,912
小計	150,827	296,932
利息及び配当金の受取額	42,127	57,572
利息の支払額	1,943	1,409
法人税等の支払額	14,816	71,716
法人税等の還付額	26,461	1,225
営業活動によるキャッシュ・フロー	98,997	282,604
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	30,140	42,487
無形固定資産の取得による支出	220	225
貸付金の回収による収入	101	-
その他	8,149	8,002
投資活動によるキャッシュ・フロー	38,408	50,715
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	300,000	-
長期借入金の返済による支出	330,480	30,480
リース債務の返済による支出	2,069	-
自己株式の取得による支出	-	28
配当金の支払額	39,101	39,205
財務活動によるキャッシュ・フロー	71,650	69,714
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	209,057	162,175
現金及び現金同等物の期首残高	1,052,153	864,259
現金及び現金同等物の四半期末残高	843,096	1,026,434

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第2四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

当社においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行3行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
当座貸越極度額	1,300,000千円	1,300,000千円
借入実行残高	300,000	300,000
差引額	1,000,000	1,000,000

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
従業員給料及び手当	33,415千円	30,912千円
役員報酬	45,864	49,089
試験研究費	34,170	36,027
退職給付費用	1,818	1,859
役員賞与引当金繰入額	6,000	7,125
賞与引当金繰入額	6,726	6,734
役員退職慰労引当金繰入額	3,060	4,120

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	843,096千円	1,026,434千円
預入期間が3か月を超える定期預金	-	-
現金及び現金同等物	843,096	1,026,434

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	39,126	7	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月25日 定時株主総会	普通株式	39,126	7	平成25年3月31日	平成25年6月26日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

当社グループは、合成皮革製品の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(金融商品関係)

該当事項はありません。

(有価証券関係)

該当事項はありません。

(デリバティブ取引関係)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額()	1円89銭	32円74銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円)	10,576	183,021
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(千円)	10,576	183,021
普通株式の期中平均株式数(株)	5,589,453	5,589,412
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	-	32円38銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(千株)	-	62
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 前第2四半期連結累計期間については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月14日

第一化成株式会社

取締役会 御中

九段監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 大網 英道 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 光成 卓郎 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている第一化成株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、第一化成株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれておりません。